

表 白

(宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌)

敬つて阿弥陀如来の御前に申してもうさく

本日ここに恭しく尊前を莊嚴して宗祖親鸞聖人七百五十回

御遠忌法要を厳修し奉る

それ、おもんみれば、今を去ること八百有余年の昔、親鸞聖人は  
京都洛南日野の里にご誕生なされ、御年わずか九歳にして

天台の門に入り、二十年の研鑽を終えて、御年二十九歳、六角堂  
百日の参籠によつて示現を得、吉水の法然上人を訪ね、重ねて百  
箇日の教えを求め、ついに本願他力の妙理をきわめ給う

寒風吹きすさぶ北海の浜辺に念佛の教えを説きては、苦難の星霜  
を重ね、草深き関東の山野に如来の本願を広めては慈愛の歳月を  
閲し給えり

晩年には数多くの聖教の執筆に心を砕き、終に念佛の息絶えて往  
生浄土の素懐をとげ給う

時にこれ弘長二年仲冬下旬第八日、頽齡は九旬に満ち給いき。

爾来、ここに七百五十有余年、伝統の法灯は末の世の闇を照らし  
て、念佛の声、海内にあまねし

時に釈尼妙真、これからは、この寺に縁を結ばれた御同朋の皆様  
と共に、宗祖親鸞聖人によつて広開された真宗の精神を学び、如  
来の本願にこの身と世界の真実をたずねて社会の矛盾や悲しみに  
眼をつむることなく、同朋社会の実現に微力を尽くしたいと思ひます。  
宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要のご縁の中で決意を表明しま  
す。

時に令和元年五月二十六日

松泉山願成寺住職釈尼妙真

敬つてもうす